

りっとうつながりサポート事業【滋賀県栗東市】

地域の実情と課題

1. 健康づくりの実践に向けての事業実施の必要
2. 「生理の貧困」問題に係る実態把握

目的・目標

日常生活等に困難や不安を抱える女性の負担軽減
生理の貧困問題の実態把握

事業の特徴

1. 相談支援
2. 1に付随した生理用品の提供
3. 女性の居場所の提供
4. 「生理の貧困」問題に係る実態把握
※栗東市社会福祉協議会へ事業委託

連携団体

栗東市社会福祉協議会（受託者）
栗東生活支援協議会
市内小中学校、市内児童館、市立学童保育所、福祉事務所
栗東市（社会福祉課、教育総務課、学校教育課、子育て応援課、自治振興課）

事業の効果

○本事業実施により、コロナ禍で日常生活に困難や不安を抱える女性に対して、相談事業の展開、サロン開催による居場所の提供、それに付随した生理用品の提供を行うことで、不安等の軽減を図る一助となったと推察される。

○市ホームページ上で生理の貧困に関するアンケート調査の実施により、「直近1年以内で生理用品の購入・入手に苦労していた」と回答した割合は10.7%（「毎回苦労した」と「ときどき苦労した」と回答したものを併せて）であった。

今後の課題

今後、生理の貧困も含め、コロナ禍の影響を大きく受けた女性に対する支援を継続的に実施していく必要がある。

また、生理の問題はこれまでタブー視されてきた問題であるため、本事業をきっかけに更に理解促進していく必要がある。

1. 相談支援

日常生活等に困難や不安を抱える女性の負担の軽減を図るため、相談事業を展開

2. 生理用品の提供

市役所関係課窓口、社会福祉協議会窓口、市内小中学校、市内児童館、市立学童保育所、福祉事務所等での提供

市役所及び市関係施設内トイレでの設置

3. 女性の居場所の提供

「まるndeさろん あさこのへや」の実施

精神科看護師、民生委員による相談及び傾聴対応
手芸などのものづくり

4. 「生理の貧困」問題に係る実態把握

市ホームページによりアンケートの実施

「直近1年以内で生理用品の購入・入手に苦労していた」と回答した割合は10.7%
（「毎回苦労した」と「ときどき苦労した」と回答したものを併せて）であった。



【サロン開催風景】

※栗東市社会福祉協議会へ事業委託